

男女共同参画セミナー

「男女（とも）に築く地域の明日（あした）～農村の地域活性化と女性の役割～」

3月18日（火曜日）、ホテルルビノ京都堀川（京都市）において、農山漁村における男女共同参画社会の早期実現に資するため、女性の参画促進に向けて、「男女（とも）に築く地域の明日（あした）～農村の地域活性化と女性の役割～」をテーマに、平成19年度近畿農政局男女共同参画推進本部男女共同参画セミナーを開催しました。普及指導員、行政担当者等43名の参加がありました。

地域農産物を活用した加工や直売、地産地消や食育活動など、農村女性を中心とした活動は、地域活性化の一翼を担っており、農村地域を元気にしています。

今回は、地域活性化と女性の役割に着目し、日本地域活力研究所代表の長谷山俊郎氏および日本女子大学家政学部家政経済学科の植田敬子氏を講師に迎え、農村の中からと外（都市）からの視点で、講演をいただき、意見交換を行いました。



日本地域活力研究所代表の長谷山俊郎氏より「農村の地域活性化と女性のかかわり」と題し、地域活性化の基本的な導入部分から、農村女性の活動を中心とした全国の地域活性化の事例紹介をふまえ、男女ともに地域活性化の方策を検討し、その中で女性を引き出し、仕込み、主役にすることが地域の活性化に重要であるとの講演をいただきました。

講演の中で事例紹介のあった秋田県の女性起業による地域農産物を活用した「ほうれんそうケーキ」と「粋果の雫（すいか糖）」の試食や、日本女子大学学生と農村女性との交流の様子をまとめた学生手作りパネル等の展示の様子。





日本女子大学家政学部家政経済学科教授の植田敬子氏より「都市住民にとっての農業・農村活性化の意義と女性の果たす役割」と題し、日本女子大学学生と岩手県水沢地方農業担い手女性塾との交流のきっかけや、農家ステイを実体験した学生の感想、そこから発展した学園祭での企画等をふまえ、笑顔あふれるたくさんの写真を交えながら、都市住民のサイドから農村と都市の交流を通じた女性の果たす役割について講演をいただきました。

講演をふまえて、農村の地域活性化と女性の役割について、意見交換をおこなった。日頃から農村女性を支援している普及・行政関係者等に、今後さらに求められることや、講演の中で紹介された女性が活躍する事例において男性はどのようにかかわっているのか等の質問がありました。

